

「農業公園豊作村の利活用に関するサウンディング型市場調査」実施結果の概要

1. 調査の目的

農業公園豊作村は、市民の農業への理解促進と、都市と農村の交流を目的に平成12年に設置した施設で、管理棟(総合交流ターミナル)のほかレンタルファームやガラスハウス等を要する農業ゾーンと、温浴交流施設湯ったり館や運動広場を要する交流ゾーンからなっています。開設から23年が経過した現状として、温浴交流施設湯ったり館については特に施設の老朽化が進み、近隣に民営類似施設が開業する状況下において、利用者数は減少傾向が続いています。これに伴う収入減少に加え、近年の社会情勢等の影響を受けた事業経費の増加も相まって、運営状況の悪化が顕在化している状況です。

このような現状を踏まえ、事業の抜本的な見直しによる本施設の有効的な利活用について検討を進めています。本調査は、民間事業者等の皆様との対話を通じて、より効果的かつ効率的、実現性の高い事業アイデアや事業条件、市場性等を把握し、今後の施設運営方針の決定や事業者公募の条件整理等に活かすことを目的としています。

2. 実施経過

- 令和5年11月1日 実施要領の公表
- 令和5年11月17日～令和5年12月8日 現地見学会【参加者数:9者】
- 令和6年1月11日～令和6年1月26日 サウンディング(対話)【参加者数:6者】

3. サウンディング(対話)参加者の業種

- 各種施設指定管理運営
- 癒しの空間・交流施設運営
- 温浴施設運営コンサルタント
- 農業公園・温浴施設等管理運営
- 健康維持・運動施設運営
- 再生エネルギー施設設置・活用事業

4. サウンディング(対話)における主な提案事業

(1) 施設の利活用案

- 温浴事業継続(6者)

(2) 主要事業

- 温浴事業
- 健康増進・スポーツ推進事業
- 農業関連施設としての活用事業
- インバウンド事業

(3) 魅力向上の取組

- 貸農園事業継続(5者)
- 運動広場の利用拡充
- 有機野菜マルシェの開催
- 健康増進プログラムの実施
- 体験農園事業
- 教育機関・旅行会社と連携した宿泊利用拡大
- 和文化体験・国際交流事業
- イベントの開催 など